



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGs アクション

宣言

「捨てられてしまうガラスを再利用してごみを減らそう」
「校区のごみを減らし、緑を増やそう」
「公共交通機関のよさを広め、利用者を増やそう」

SDGs アクション

★1年生「育てたあさがおを、素敵な置物にしたよ」

札幌市水道局から水道メーターに使用した廃棄になるガラスを提供していただき、押し花にしたあさがおを2枚のガラスに挟んで素敵な置物にしました。年間3万枚ほどの使用済ガラスが廃棄（産業廃棄物として埋め立て）となるそうですが、このように再利用することでごみ削減に貢献するとともに、思い出のあさがおをずっと大切にすることもでき、一石二鳥です。



★5年生「COCONO SUSUKINO緑化プロジェクト」

本校校区にある COCONO SUSUKINO。新しくできた立派な施設ですが、その周辺はごみが散乱しています。そこで、周辺の花壇にたくさんの花を植え、緑を増やすことで、訪れる人々への環境意識の啓発につなげようと取組を始めました。



★5年生「市電の魅力発信プロジェクト」

モビリティ・マネジメント教育の一環として、自動車に頼り過ぎない移動を促すきっかけづくりのため、市電のよさや市電沿線の魅力を発信し、脱炭素社会の構築に少しでも貢献できるように実地調査を進めました。



成果

これらの活動を通して、自分たちの身近なところから、自分たちにできることに一つ一つ取り組むことが、環境を守ることにつながったり、住み続けられるまちづくりにつながったりすることに気付くことができました。

次年度の取組に向けて

どの活動も地域の環境に目を向ける素晴らしい活動になった。これらの活動を持続可能なものにするために、子どもの育ちにどうつながったのかを明らかにするとともに、子ども自身のやりたいことを整理し、よりよい活動になるように改善を図る。